

ORACLE DATA INTEGRATOR ENTERPRISE EDITION

ORACLE DATA INTEGRATOR ENTERPRISE EDITION

おもな機能

- データベース、ERP、CRM、B2B システム、フラット・ファイル、XML データ、LDAP、JDBC、ODBC に対する統合機能の標準提供
- 拡張性を考慮したナレッジ・モジュール・フレームワーク
- データベース内の変換とデータの整合性をすべてのデータベースで制御
- Oracle Exadata をはじめとする Oracle データベース向けのもっとも高機能な ETL（複雑なディメンションおよびキューブのロードもサポート）
- Oracle GoldenGate との統合によるリアルタイム・データウェアハウスの実現
- メタデータ主導のデータ系統分析と影響分析
- 高度なプロファイリング、クレンジング、マッチングおよびデータ・ガバナンスの各要件に、Oracle Enterprise Data Quality との統合により対応

おもな利点

- トップレベルのパフォーマンス
- 生産性の向上
- 柔軟性
- 総所有コストの大幅削減

固有の利点

- 使用率の向上とパフォーマンスに優れたデータ統合によるハードウェア・コストの削減
- データ/イベント/サービスをベースとした各統合を単一ソリューションに統合
- 設計者の生産性の最大化による総所有コストの削減
- オープン、100% Java、SOA、標準ベースのソリューション
- 異種のソース、ターゲット、アプリケーションをサポート

オープンな統合 E-LT アーキテクチャを使用している Oracle Data Integrator Enterprise Edition 12c は、エンタープライズ・プラットフォーム間のデータ移動およびデータ変換を高パフォーマンスで提供します。新しいデータ・トレンドの出現や、組織のアジリティにおける特有のメリットのことを考慮すると、ビッグ・データ、データウェアハウス、サービス指向アーキテクチャ、ビジネス・インテリジェンスなどの構想を活かすには、Oracle Data Integrator Enterprise Edition が不可欠です。使いやすいインタフェースと拡張性に優れたフレームワークによって、生産性が向上し、開発コストが削減され、データ中心アーキテクチャの総所有コストが低減します。Oracle Data Integrator Enterprise Edition は、Oracle Fusion Middleware、Oracle Database、および Oracle Exadata と完全に統合されているため、企業を中心にデータを置くことができます。また、Oracle Data Integrator Enterprise Edition はオープンかつ標準に準拠しているため、オラクルのアプリケーションだけでなくサード・パーティ・アプリケーションとも連携できます。

オラクルのデータ統合ソリューションについて

オラクルはデータ統合市場のリーダーであり、Oracle Data Integrator Enterprise Edition、Oracle GoldenGate、Oracle Enterprise Data Quality などの、完全に統合されたもっとも包括的なデータ統合製品を提供しています。オラクルのデータ統合ソリューションは、信頼性の高いタイムリーな異種データに対して、継続的なアクセスを全社的に提供することで、分析データと業務データの両方の統合をサポートします。

12c の新機能

Oracle Data Integrator Enterprise Edition 12c に導入された新機能は次のとおりです。

- 新しいフローベースの宣言的ユーザー・インタフェースにより、優れた生産性を実現します。この改良されたユーザー環境は、シンプルながらも強力に包括的です。マッピング・ロジックをシームレスに再利用できるため、開発スピードが向上し、解決に要する時間が短縮されます。
- 並列処理機能の改良により、もともと高かった Oracle Data Integrator アーキテクチャのパフォーマンスがさらに改善されました。
- 高パフォーマンスの E-LT 機能に Oracle GoldenGate が統合されたため、データウェアハウスへのリアルタイム・データのロードと変換のスピード・アップと効率化を図れるようになりました。ソース・システムやバッチ・ウィンドウの依存関係に影響を与えずに、リアルタイム・データウェアハウス・ソリューションを簡単に構成してデプロイできます。
- Oracle Warehouse Builder との相互運用性が向上しました。これにより、オラクルの戦略的な Oracle Data Integrator プラットフォームへの移行を開始するための基盤が提供されます。

- Oracle Enterprise Manager Cloud Control 12cに直接統合されました。これにより、Oracleのテクノロジーとアプリケーションを一元化された場所から監視するIT部門の生産性が向上します。
- 非構造化データ、半構造化データ、構造化データにおける業界標準を使用して統合ツールを統一し、ビッグ・データのサポートを強化しました。

複雑なデータ統合を簡単に

Oracle Data Integrator Enterprise Edition は、企業データの統合に関する多数の要件に対応します。

- **データウェアハウスとビジネス・インテリジェンス**：データウェアハウス、データ・マート、オンライン分析処理 (OLAP) キューブ、および分析アプリケーションの大容量で高パフォーマンスのロードを実行します。Oracle Data Integratorは、増分ロードと緩やかに変化するディメンションを透過的に処理し、データの整合性と一貫性を管理してデータシステムを分析します。
- **ビッグ・データ**：HDFSやHiveなどのビッグ・データ・テクノロジーとの統合機能がビルトインされているため、これまでは大きすぎて扱いにくいために有効活用できなかった他のデータソースも活用できます。メタデータ主導のプロセスを活用するビッグ・データ・テクノロジーが統合されると同時に、ビッグ・データの抽出、ロード、変換の方法をデータ統合リソース側で容易に管理できるようになります。
- **サービス指向アーキテクチャ**：外部サービス呼び出しでデータ統合を実行するとともに、データ・サービスおよび変換サービスをデプロイしてSOAインフラストラクチャへシームレスに統合できます。Oracle Data Integratorのアーキテクチャは、既存のサービス指向アーキテクチャに大容量かつ高性能なバルク・データ処理サポートを追加します。
- **マスター・データ管理 (MDM)**：独自のデータ・ハブを構築している顧客や、MDMのパッケージ・ソリューションを使用している顧客、またはSOAプロセス分析やBusiness Process Execution Language (BPEL) を統合した混合型のMDMシステムを利用している顧客に対して、包括的なデータ同期インフラストラクチャを提供します。
- **移行**：既存のシステムから新規のシステムへの履歴データのバルク・ロード（複雑な変換を含む）を効率的に実行できます。また、2つのシステムが共存する限り、Oracle GoldenGateがシームレスにデータを同期し、変換の必要がある場合はOracle Data Integratorが引き続き変換を実行します。

パフォーマンスに優れた E-LT アーキテクチャ

Oracle Data Integrator Enterprise Edition の抽出、ロード、変換 (E-LT) アーキテクチャでは、データ処理とデータ変換にさまざまなリレーショナル・データベース管理システム (RDBMS) のエンジンを利用しています。このアプローチによって、パフォーマンスとスケーラビリティが最適化され、ソリューション全体のコストが削減されます。

Oracle Data Integrator Enterprise Edition の E-LT アーキテクチャは、従来の独立した ETL 変換サーバーに依存することなく、さまざまな RDBMS エンジン用のネイティブ・コード (SQL、バルク・ローダー・スクリプトなど) を生成します。E-LT アーキテクチャでは、さまざまなソースからデータを抽出し、抽出したデータをターゲットにロードしてから、データベースの能力を使用してデータを変換します。Oracle Data Integrator Enterprise Edition は、既存のデータベースとデータベースに関する専門知識を活用することで、これまでになく高い効率を発揮して総所有コストを削減します。E-LT アーキテクチャは、ネットワーク・トラフィックの軽減と、ターゲット表を含むデータベース上でのデータ変換によって、パフォーマンスを最大化します。

異機種間サポート

Oracle Data Integrator Enterprise Edition は、サード・パーティ・プラットフォーム、データソース、およびデータウェアハウス・アプライアンスの異機種間サポートを提供します。Oracle Data Integrator Enterprise Edition での E-LT データ移動、変換、データ品質および標準化の各操作には Oracle Database の最適化機能が活用されます。Oracle Data Integrator Enterprise Edition は、ソース、ターゲット、アプリケーションなどの混在したテクノロジー用に完全に最適化されています。

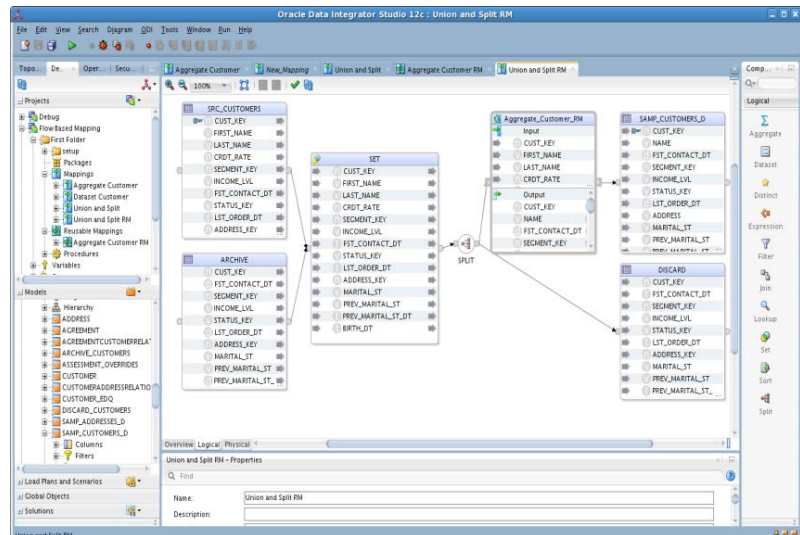


図1. Oracle Data Integrator Enterprise Edition Studio

生産性に優れたデータ統合用設計パラダイム

Oracle Data Integrator Enterprise Edition 12c には、ユーザー・エクスペリエンスと生産性を向上させる新しいフローベースの宣言的なユーザー・インターフェースが導入されています。新しいユーザー・インターフェースでは、宣言的アプローチの分かりやすさと使いやすさに、構成可能なフローの柔軟性と拡張性が融合されています。そのため、一般的なデータ統合の設計やデプロイメントのユースケースが簡素化され、実装に要する時間が短縮されます。ソースとターゲットのデータ形式とデータ統合プロセスを記述するのはデータ統合の設計担当者です。ビジネス・ユーザーや開発者は実行方法ではなくその内容に専念できます。さまざまなソース・システムとターゲット・システム間にこれらのプロセスを実装するために必要なコードは、Oracle Data Integrator Enterprise Edition が生成、デプロイ、管理します。開発時にマッピング・ロジックをシームレスに再利用できるようになったことで、パラダイムも強化されました。そのため、開発者はより簡単かつ効率的にソリューションを完成させられます。

ナレッジ・モジュールがもたらす柔軟性と拡張性

Oracle Data Integrator Enterprise Edition のアーキテクチャの中核にあるのがナレッジ・モジュールです。これが、Oracle Data Integrator Enterprise Edition のすべてのプロセスにモジュール性、柔軟性、拡張性をもたらします。

ナレッジ・モジュールは、各データ統合プロセスに関係する複数のシステムに、実際のデータ・フローを実装し、コードを生成するためのテンプレートを定義します。ナレッジ・モジュールは、変換ルールに関係なくデータ・フローを生成するため、汎用性があります。同時に、ナレッジ・モジュールは非常に具体的でもあります。

生成するコードおよび実装する統合戦略は、特定のテクノロジーに合わせて明示的に調整されます。Oracle Data Integrator Enterprise Edition には包括的なナレッジ・モジュール・ライブラリが用意されており、種類の異なるソース・システムおよびターゲット・システムを活用するものから、パフォーマンスを最大化する方法論、会社の標準に準拠させるためのものや、特定の垂直型統合のノウハウに対応したもので、既存のベスト・プラクティスに合わせてカスタマイズして実装できます。企業は Oracle Data Integrator Enterprise Edition のナレッジ・モジュール・フレームワークから技術的な専門知識とベスト・プラクティスを獲得および再利用できるため、所有コストを削減できます。また、メタデータ主導の製品機能の拡張性を実現することによって、データ統合上のもっとも厳しい課題を解決します。

高可用性とスケーラビリティを実現するエンタープライズ・デプロイメント

Oracle Data Integrator Enterprise Edition は、プラットフォームとして Oracle Fusion Middleware に統合されています。Oracle Data Integrator Enterprise Edition の実行時コンポーネントは、Oracle WebLogic および Oracle Coherence の機能を最大限活用するよう拡張された Java EE アプリケーションとして提供されます。また、Oracle Data Integrator Enterprise Edition のコンポーネントには、企業規模のデプロイメント、高可用性、スケーラビリティ、および強固なセキュリティを実現するための独自機能が含まれています。

高可用性 (HA) とスケーラビリティは Java EE コンポーネントのクラスター・デプロイメントを介して完全にサポートされます。Oracle Data Integrator Enterprise Edition のコンポーネントを WebLogic Server にデプロイすると、JDBC 接続プーリングやロードバランシングなどのスケーラビリティを実現するクラスターリング機能を利用できます。このクラスター固有の HA 機能に加え、ランタイム・エージェントによって接続の再試行メカニズムがサポートされるため、Oracle Real Application Clusters などの HA 対応データベース・エンジンに格納されたリポトリ内で実行されるセッションを透過的に回復できます。

関連製品とサービス

Oracle Data Integrator Enterprise Edition は、パフォーマンスの向上、データ統合コストの削減、生産性の向上を実現する独自の次世代型 E-LT (抽出、ロード、変換) テクノロジーを提供します。

関連製品

- Oracle GoldenGate
- Oracle Enterprise Data Quality
- Oracle Exadata
- Oracle Business Intelligence
- Oracle SOA Suite
- Oracle Database
- Oracle データウェアハウス
- Oracle Master Data Management

関連サービス

Oracle Support Services から以下のサービスが利用できます。

- アップデート・サブスクリプション・サービス
- 製品サポート・サービス

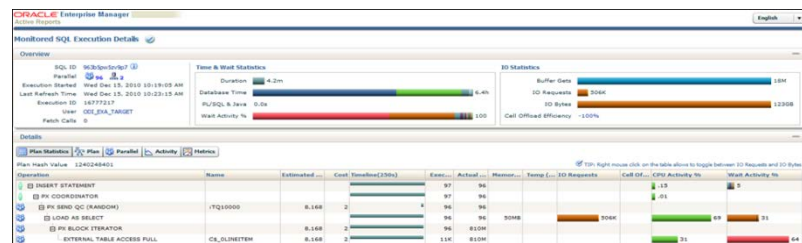


図2 : Oracle Enterprise Manager Cloud Controlの統合

統一された管理

Oracle Data Integrator Enterprise Edition は、一連の統一された管理インタフェースを通じて可視性と制御を強化することで、複雑なデータ中心デプロイメントを簡素化します。

Oracle Data Integrator Enterprise Edition Console は、Oracle Application Development Framework (Oracle ADF) と Ajax フレームワークを活用して、優れたユーザー・エクスペリエンスを実現します。このコンソールを使用すると本番環境のユーザーは、環境の設定、リポトリのエクスポートとインポート、実行時処理の管理、セッションの監視、エラーの診断、設計時のアーチファクトの表示、系統レポートの生成を行えます。

また、このインタフェースは Oracle Enterprise Manager Fusion Middleware Control Console とシームレスに統合されているため、管理者はデータ統合コンポーネントだけでなく、その他の Fusion Middleware コンポーネントも1つの画面から監視できます。

オラクルは、Oracle Data Integrator の価値を最大限に引き出せるようにすることを目的に、Management Pack for Oracle Data Integrator を提供しています。Management Pack for Oracle Data Integrator は、Oracle Enterprise Manager Cloud Control の高度な管理機能を利用して Oracle Data Integrator 環境にトップダウン型の統合ソリューションを提供します。Oracle Data Integrator のインフラストラクチャ全体がまとめて表示されるビューが提供されるため、すべてのコンポーネントを Oracle Enterprise Manager Cloud Control から一元的に監視および管理できます。

お問い合わせ先

Oracle Data Integrator Enterprise Edition について、詳しくは [Oracle.com/goto/dataintegration](https://www.oracle.com/goto/dataintegration) を参照するか、+1.800.ORACLE1 でオラクルの担当者にお問い合わせください。



Oracle is committed to developing practices and products that help protect the environment

Copyright © 2013, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

本文書は情報提供のみを目的として提供されており、ここに記載される内容は予告なく変更されることがあります。本文書は一切間違いがないことを保証するものではなく、さらに、口述による明示または法律による黙示を問わず、特定の目的に対する商品性もしくは適合性についての黙示的な保証を含み、いかなる他の保証や条件も提供するものではありません。オラクル社は本文書に関するいかなる法的責任も明確に否認し、本文書によって直接的または間接的に確立される契約義務はないものとします。本文書はオラクル社の書面による許可を前もって得ることなく、いかなる目的のためにも、電子または印刷を含むいかなる形式や手段によっても再作成または送信することはできません。

Oracle および Java は Oracle およびその子会社、関連会社の登録商標です。その他の名称はそれぞれの会社の商標です。

Intel および Intel Xeon は Intel Corporation の商標または登録商標です。すべての SPARC 商標はライセンスに基づいて使用される SPARC International, Inc.の商標または登録商標です。AMD、Opteron、AMD ロゴおよび AMD Opteron ロゴは、Advanced Micro Devices の商標または登録商標です。UNIX は、The Open Group の登録商標です。0612

Hardware and Software, Engineered to Work Together

ORACLE®